

「日本語学習者の辞書使用の実態調査」

国立国語研究所 研究系 石黒 圭 ・ 吉 甜 ・ 佐野 彩子

スマホ等の画面録画機能を用いて

- ① 日本語学習者のオンラインでの語彙検索行動を調査
- ② 学習者の辞書ツール使用の困難点と改善点を解明

最終的に、学習者用の学習支援辞書ツールの開発に結びつけることを目標にしたプロジェクト



1. 背景

日本語学習者は、辞書アプリケーションやインターネット上の辞書を使用することが主流になっている。しかし、実際に日常生活のどのような場面で、どのような言葉をどのように調べ、その結果、どのような困難が生じているかという実態調査が不足している。

2. 調査対象



協力大学	人数
中国A大学	29名
中国B大学	20名
台湾C大学	9名
韓国D大学	11名
韓国E大学	11名
ベトナムF大学	10名(予定)
日本G大学	10名(予定)
合計	100名

3. 調査内容

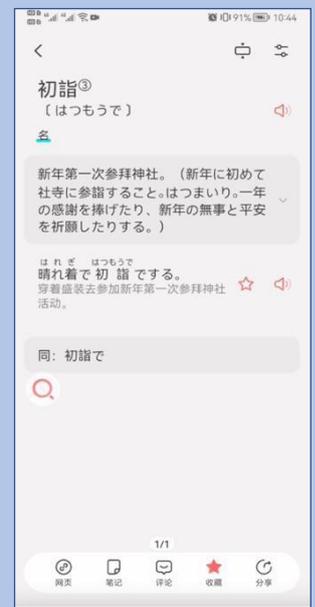
- ① 日本語のレベルチェック
- ② 日本語学習歴、学習環境、持ち物(紙の辞書、電子辞書、スマホ、タブレット、PC等)の調査
- ③ 語彙検索行動のビデオ録画(1週間)

4. 調査のご紹介①

- 中国の中級レベルの学習者
- 中国語にない漢字語彙の検索例「初詣」



(手書き入力で調べた画面)

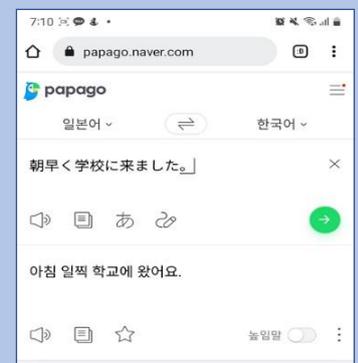


(言葉の意味に到達した画面)

⇒ 中国人学習者にとっては、漢字語彙であっても、簡単に意味が推測できるとは限らない

5. 調査のご紹介②

- 韓国の初級レベルの学習者
- 1語ではなく1文全体を検索
- 例「朝早く学校に来ました」
- ⇒ 1文全体の意味や構造を調べている



6. 今後の方向性

- ✓ どんな言葉をどのように調べているのか?
- ✓ 上手い調べ方とは?

謝辞:

本研究は科研費(21K18375)および国立国語研究所機関拠点型基幹研究プロジェクト「学習者の辞書資源使用の実態調査」の研究成果の一部である。